

平成28年度 事務事業評価シート

事業概要	事務事業名	公園緑地施設管理委託事業						担当部	都市建設部							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般事業			担当課	みどり公園課						
	事業期間	平成12年度以前			～	平成31年度以降			担当係	花と緑推進係						
	総合計画 新基本計 画	施策等	6 都市基盤		27 公園・緑地・緑道		2 安全・快適な公園を維持します									
			重点事業			実施計画事業										
	予算区分	款	8		項	4		目	4		大	3		中	2	
	根拠法令・個別計画															
	目的	何・誰を対象に	公園利用者													
		どのような状態にするのか	公園、児童遊園、街路樹等について、市民が安全で快適に利用できるような管理を行う。													
	内容(手段) 目的達成のため にどのような事業 を実施したか	<p>○27年度実施内容</p> <p>地元区長、民生児童委員に身近な公園・児童遊園の清掃・除草活動などを委託した。また桃花台センター、小牧市公園緑地協会に公園・街路樹などの維持管理を委託し、市民、地元区長、民生児童委員の連絡による施設の不具合については現場確認し、桃花台センター、小牧市公園緑地協会に対応可能なものは修繕等の依頼をした。</p> <p>【直接経費の内訳】</p> <p>公園緑地地元管理委託 委託先: 地元区長、民生児童委員 (29,359千円)          ※地元区長一公園(89公園) 緑道(4路線) 緑地(3箇所) 歩専(1路線)          外 市民四季の森・小針公園          民生児童委員一児童遊園(82園)          桃花台地域内公園緑地管理委託 委託先:(一財)桃花台センター (233,671千円)          ※都市公園(30公園) 緑道(2緑道) 広場(2箇所) など          街路樹(64路線) 保育園(3園)          公園緑地施設等管理委託 委託先: 小牧市公園緑地協会(464,462千円)          ※都市公園(69公園) 児童遊園(82園) 街路樹(67路線) など</p> <p>○28年度実施内容</p> <p>【直接経費の内訳】</p> <p>公園緑地地元管理委託 委託先: 地元区長、民生児童委員 (29,823千円)          桃花台地域内公園緑地管理委託 委託先:(一財)桃花台センター (237,460千円)          公園緑地施設等管理委託 委託先: 小牧市公園緑地協会(500,517千円)</p>														
受益者負担	無															

		単位	H25決算額	H26決算額	H27決算額	H28予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	673,807	671,908	727,492	767,800	
		正職員	従事者数	人	0.20	0.20	0.20	0.20
			人件費	千円	1,100	1,100	1,100	1,100
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計	千円	674,907	673,008	728,592	768,900	
	対前年比	%		99.7	108.2	105.5		
財源	一般財源	千円	674,270	672,335	727,908	768,240		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	637	673	684	660		

業	活動指標名	単位		H25	H26	H27	H28
	都市公園の委託数	ヶ所	目標		92	94	95
実績				92	94	95	
児童遊園の委託数	ヶ所	目標		83	82	82	81
		実績		83	82	82	
		目標					
		実績					
績	成果指標名	単位		H25	H26	H27	H28
	市民が管理している公園割合	%	目標		95	95	95
実績				95	95	95	
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成27年度の実施結果	事業の達成状況	身近な地元や民生児童委員に管理をしてもらうことにより愛着を持って利用され、概ね快適な公園等の提供ができた。また、外郭団体に委託することにより、市内全域の公園緑地等の日常管理がなされている。また、市民が管理している公園割合は、95%であり、目標を達成している。
		事業実施における課題	地元管理について、地元組織の弱体化により管理委託ができないケースがある。(平成21年度から市之久田中央公園) 年々事業費が大きくなっている傾向にある。経費節減に努めているものの特に施設の老朽化による補修や道路の街路樹作業の警察からの指導、地元要望に対応するため、公園緑地協会への管理委託費が増大している。
		事業を縮小・廃止したときの影響	現在の市職員では、公園施設の管理ができなくなるもしくは不十分となり、公園緑地の利用者の安全、安心を確保することができない。
	平成28年度の改善内容	28年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	公園の使用方法の多様化に伴う、近隣住民からの苦情に対処するため、各公園独自のルール作りや樹木の管理指針の作成に取り組む。
平成29年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
	判定理由	日々市職員による見回りが出来ないため、地元区の協力は必要である。また膨大な施設の管理を外郭団体に委託することにより、年間を通し専属的に維持管理がなされ、軽微な修繕は迅速に対応できるため。	
	29年度以降の改善案	公園緑地の地元管理の問題点を整理し、あり方について研究を進め、公園管理への積極的参加をうながし効率的な管理につなげていく。また、多種多様化する公園利用についてのルールづくりを地元区と協働で実施していくとともに公園や道路の樹木についての管理指針を作成し、適正に維持管理していく。	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。 ただし、事業費が大きいいため、委託内容を精査して経費節減に努めること。